

コース名	事例に学ぶ経営力養成講座		
研修のねらい	近年、日本の人口減少による国内市場の成熟、人材不足、グローバル化にともなう国際企業間競争の激化など、中小企業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このような中、経営者、経営幹部、経営後継者等（経営中核人材）は、高度な経営課題に対応できる経営力の向上が求められています。本研修において、経営中核人材が企業経営の現場で直面するさまざまな経営課題や意思決定が求められる場面で、各種の経営分析手法やフレームワークを活用しながら、複雑に絡み合う要素を紐解きながら、問題解決と最適な意思決定ができる経営力を身につけることができます。		
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な参加型の研修で、経営現場を疑似体験し、経営力を身につけることができます。</li> <li>・経営者・経営幹部として必要になる判断力、決断力、実行力を身につけることができます。</li> <li>・ケースメソッド教授経験の豊富な講師陣のため、様々な知見を得ることができます。</li> </ul>		
研修期間	2018年1月23日（火曜）～2018年2月15日（木曜）（全5日間） （詳細）3日間＋2日間 第1ターム 2018年1月23日（火曜）～2018年1月25日（木曜） 第2ターム 2018年2月14日（水曜）～2018年2月15日（木曜）		
受講対象者	経営者、経営幹部	定員	20名 受講料 42,000円

**【第1ターム】経営・戦略リテラシー**  
 経営者が経営課題に対する意思決定を行うために求められる経営・戦略リテラシーを習得します。  
 (1) 経営戦略策定プロセスを理解し、基本的なフレームワークを活用しながら戦略を策定します。  
 (2) 経営者が意思決定を行う際に、求められる計数感覚を身につけます。

月日	時間	科目	講師	内容
1月23日（火曜）	9時20分～9時40分	オリエンテーション	担当職員	
	9時40分～11時10分	研修ガイダンス	徳島文理大学 人間生活学部 教授 竹内伸一	研修の目的・到達目標 自己紹介（参加動機、目標等の共有） 経営者・経営幹部に求められる能力（講義） ケースメソッド授業の心得
	11時10分～12時40分	高度経営人材に求められる経営戦略		ショートケース研究（経営戦略策定） 経営戦略策定のプロセス、経営戦略策定で活用するフレームワーク等、ショートケースを用いた演習・解説を通して学びます。
	13時40分～16時40分			
1月24日（水曜）	9時40分～12時40分	高度経営人材に求められる計数マネジメント	県立広島大学大学院 経営管理研究科 准教授 村上敏也	ショートケース研究（計数マネジメント） 財務分析などの基本的な分析手法、経営者の意思決定に必要な計数マネジメント等、ショートケースを用いた演習・講義を通して学びます。
	13時40分～17時40分			
1月25日（木曜）	9時40分～12時40分	事例に学ぶ経営力養成（1）	国士舘大学 経営学部 准教授 水野由香里	ケースメソッド（1） なぜ、努力が実らないのか？「成果」がでないことに悩む経営者を取り上げたケース「ある旅館経営者の成長の軌跡」を使用して演習を行う予定です。定性、定量情報から問題の抽出と優先順位を踏まえた課題解決まで、読み込み、個人、グループ、クラス全体での討議を行います。
	13時40分～16時40分			

**【第2ターム】人材確保・人材育成難／新事業展開**  
 成長志向の企業にとって、新技術の活用などによる新しいビジネスモデルの追及や、新事業展開のための外部企業との取引やアライアンスが重要な鍵となり、また、量・質ともに人材難が深刻であるため、人材確保・育成に関する問題に取り組み、限られた人材を活用しながら企業活動を進めていくために必要な経営能力を習得します。  
 (1) 組織改革の着眼点、人材獲得、企業にあった人材育成法など、経営戦略の履行に必要な人材・組織に関する能力・スキルを身につけます。  
 (2) 経営環境の変化に対応し、新技術などを活用した新しいビジネスモデルの構築に必要な能力・スキルを身につけます。  
 (3) 新事業を展開するためのプロセスやプロジェクトマネジメントに関する知識やスキルを身につけます。

月日	時間	科目	講師	内容
2月14日（水曜）	9時40分～12時40分	事例に学ぶ経営力養成（2）	株式会社CCD 代表取締役 藤野 孝	ケースメソッド（2） 企業が成長していくために経営者が果たすべき職務について、人材確保・人材育成難を取り上げたケース教材を使用して、定性、定量情報から問題の抽出と優先順位を踏まえた課題解決まで、読み込み、個人、グループ、クラス全体での討議を行います。
	13時40分～16時40分			
2月15日（木曜）	9時40分～12時40分	事例に学ぶ経営力養成（3）	青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授 黒岩健一郎	ケースメソッド（3） 「我が社が生き延びていくためには、将来に向けての準備段階として、今から海外進出を検討すべきではないか」と考えた経営者を取り上げたケース「株式会社大洋発條製作所」を使用する予定です。定性、定量情報から問題の抽出と優先順位を踏まえた課題解決まで、読み込み、個人、グループ、クラス全体での討議を行います。
	13時40分～16時40分			
	16時40分～16時50分	修了証書授与	担当職員	

講師氏名	略歴
竹内 伸一 (たけうち しんいち) 徳島文理大学 人間生活学部 教授	1988年早稲田大学教育学部卒業。マツダ株式会社を経て、2004年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(修士(経営学))、2011年慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学、2015年広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了(博士(教育学))。2004年筑波大学大学研究センター客員研究員、2006年株式会社ケースメソッド教育研究所代表取締役、同年慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究助手、2007年特別研究講師、2011年特任准教授。2016年より現職。
村上 敏也 (むらかみ としや) 県立広島大学大学院 経営管理研究科 准教授	1997年慶應義塾大学環境情報学部卒業。学生時代より複数のITベンチャーにて奔走し、技術担当役員などを経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)博士(経営学)。東京工科大学コンピュータサイエンス学部、多摩大学経営情報学部、立教大学経済学部の非常勤講師を経て2016年4月より現職。慶應ビジネス・スクール訪問研究員。特定NPO法人チャイルドライン支援センター、アドヴォカシー事業部ファンドレイズ担当理事。
水野 由香里 (みずの ゆかり) 国土館大学 経営学部 准教授	1998年聖心女子大学卒業。2000年一橋大学商学研究科修士課程修了、2005年同博士後期課程単位取得満期退学。2005年独立行政法人中小企業基盤整備機構リサーチャー、2007年西武文理大学サービス経営学部専任講師、2013年准教授を経て、2016年4月より現職。 2006年度から聖心女子大学非常勤講師(3年間)、2009年度から滋賀大学非常勤講師(2年間)、2017年度から埼玉大学非常勤講師。
藤野 孝 (ふじの たかし) 株式会社CCD 代表取締役	1992年明治大学商学部卒業、ソニー株式会社を経て、1998年慶應義塾大学院経営管理科修士課程修了(修士(経営学))。株式会社ドリームインキュベータ、ナスステンレス株式会社、エン・ジャパン株式会社を経て、2015年株式会社CCD設立、2017年よりグロービス経営大学院客員准教授も務める。 株式会社ドリームインキュベータでは上場準備とコンサルタント業務を務め、ナスステンレス株式会社ではCFOとして企業再生業務に従事。エン・ジャパン株式会社では取締役管理本部長、中途採用支援事業部長、常務取締役経営企画室長・管理本部長を務める。
黒岩 健一郎 (くろいわ けんいちろう) 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授	1990年早稲田大学理工学部建築学科卒業。住友商事株式会社を経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(修士(経営学))。同大学院後期博士課程単位取得退学。博士(経営学)。2003年武蔵大学経済学部専任講師、准教授、教授を経て2014年より現職。専門はマーケティング論。

# 29年度コース別受講申込書 (FAX)

FAX.042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載し、折り返しFAXいたします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 殿

年 月 日

フリガナ			代表者役職		
会社名			代表者氏名		
所在地	〒 都道府県				
TEL			FAX		
業種	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 具体的に( )	業種分類 (製造業のみ○印をおつけください)	9.食品 10.飲料 11.繊維 11.衣料 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
主要取扱品目		資本金	万円	従業員数	人
東京校での受講実績	ある(経営後継者・経営管理者・工場管理者養成コース・その他研修)・ない ※↑受講実績のある方は、どの研修を受講された経験があるか○をしてください。		東京校メルマガ発行時の送信可否	可・不可	
研修情報の入手先	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌 8.テレビ・ラジオ 9.県市等の機関紙 10.展示会等 11.その他( )			人材育成計画作成への関心	ある・ない
事務連絡担当者	フリガナ 氏名	部署 役職	担当者E-mail		

受講コース名		コースNo.	No.
--------	--	--------	-----

受講者情報①	フリガナ	年齢	性別	部署	受付状況①	受講いただけます 受講決定通知兼振込依頼書を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送いたします。	
	氏名	歳	男・女	役職(役職を記載の上該当区分に○) (代表者・役員・管理者・管理者候補等)			
	受講者E-mail						
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要箇所のお印にチェックを入れてください。						
	入寮する	○	⇒	入寮日			退寮日
入寮しない	○		研修開始日	研修終了日			
			研修開始日の前日	研修終了日の翌日			

受講者情報②	フリガナ	年齢	性別	部署	受付状況②	受講いただけます 受講決定通知兼振込依頼書を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送いたします。	
	氏名	歳	男・女	役職(役職を記載の上該当区分に○) (代表者・役員・管理者・管理者候補等)			
	受講者E-mail						
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要箇所のお印にチェックを入れてください。						
	入寮する	○	⇒	入寮日			退寮日
入寮しない	○		研修開始日	研修終了日			
			研修開始日の前日	研修終了日の翌日			

- 1) 太枠内の該当箇所にお印をおつけください。また、入寮希望の有無・入退寮日につきましては、受講予定者ご本人様にご確認をお願いします。
- 2) 入寮された場合の部屋割りについては、受入人数の都合で、ご希望に添えない場合があります。
- 3) より多くの企業の皆様にご受講いただきたいために、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みとさせていただきます。(一部コースを除く。詳しくは研修概要をご覧ください。)なお、2名様をこえる場合はキャンセル待ち扱いとなります。
- 4) 次のコースの申込書は別様式ですので、専用パンフレットをご請求下さい。「経営後継者研修」「経営管理者研修」
- 5) 受付状況がキャンセル待ちの場合、キャンセルが発生次第ご連絡いたします。受講可能な場合には、「受講決定通知兼振込依頼書」を事務連絡担当者様へ発送いたします。
- 6) 複数コースをお申込みされる場合、申込書はコピーをしてご利用ください。

個人情報の保護について	個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。
-------------	--

大学校使用欄				
--------	--	--	--	--